

ふれあい

平成26年3月 第333号

大代地区コミュニティ推進協議会

(広 報 部)

事務局：大代地区公民館

TEL 022-364-8442

掲 載 目 次

- 婦人防火クラブ活動について 1
- やかもち鍋料理教室を実施して 3
- 生活不活発病の予防と改善 1
- 少しの散歩道 4
- 地震予知の朗報、寒中の散歩 2
- お知らせ 4
- 自然と人間のかかわり 3

大代地区の世帯数(平成26年1月31日現在)：東区348、中区321、西区305、北区122、南区600、合計1,696

婦人防火クラブ活動について

大代地区婦人防火クラブ

会長 後藤 重子

多賀城市婦人防火クラブは、全戸加入です。大代五区からは、理事として選ばれた方々が、多賀城市婦人防火クラブの各種行事に参加するとともに大代地区独自の行事を計画し、地域の皆様とのコミュニケーションを図っております。

隔週火曜日に行われている「門ニング」運動は、多賀城東小学校の校門前において登校して来る子供達に挨拶運動を行っております。元気に登校して来る子供達に「おはよう」の声がけをして、返ってくるその元気な声にパワーをいただきながら朝のひとときを過ぎさせていただいております。

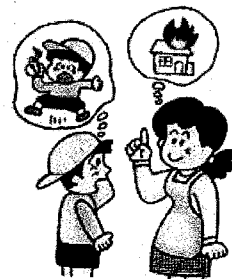
また秋には、消火器と火災報知機の普及を試みております。特に火災報知機は、設置義務に伴って、当クラブ員を通じて、購入いただき、申し込んでいただいた方々には保証期間中のケアを行いました。警報機は電池式です。電池が消耗すると光と音(ピッピッ)が出ますので、電池を交換することにより、再度使用可能となります。

3月には、公民館まつりに非常持ち出し品の展示とクイズ、今回は、多賀城消防署の協力をいただき、消防広場を設けての参加とな

ります。

平成25年12月、地域防災力の充実強化に関する法律の第18条に婦人防火クラブの位置づけがなされました。

私達の家庭から「無火災」、そして地域における「防災」と「減災」、地域の皆様の協力をいただきながら、これからも理事の方々を中心に活動を続けて参りたいと思っております。



生活不活発病の予防と改善

大代地区コミュニティ推進協議会広報部
寒い日が続いておりますが、歩きにくくなったり、疲れやすくなっていますか？
生活不活発病とは、「動かない」ことで心身の機能が低下し、「動きにくく」なってしまふことです。

改善のポイント

- 毎日の生活を活発にしましょう。
- (日常生活で、自然に体や頭を動かす機会を多く持つ)
- 家庭、地域で楽しみや役割を持ちましょう。
- (趣味、散歩、スポーツなど)

地震予知の朗報

大代北区町内会長 加藤 渉

東日本大震災より3年が過ぎようとしている。あの地震の中に宮城県沖地震（37年周期）も含んでいたのだろうか、またあの地震が宮城県沖地震の領域で起きたのなら、学者の言っているエネルギーの蓄積が解放され、後37年は大きい地震はないのだろうかと疑問に悩まされている。こんな記事もあった。

2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震は三陸沖を震源とするものの、北は岩手県沖から南は茨城県沖まで広範囲の震源域における運動型地震となっており、地震予知連絡会や国の地震調査研究推進本部も「想定される宮城県沖地震も同時に発生した」との見解を示している。又今回の、3.11とは別物だという説もある。何れにせよ長さ500キロ幅200キロは、大きな区域だった。今でも余震とみられる地震が、この区域で、1日当たり2、3回の地震が起きている。発震の予知（2、3日前）が出来たら即、手の打ちようが、と、模索していたら、この様な物が目に付いたので的中確率は別として、記してみた。（ラジオの雑音で地震の前兆がわかる）原文をそのまま抜粋したものが次、ラジオの雑音は多くの皆さんが経験しています。阪神・淡路大震災をはじめ、多くの地震発生時におけるラジオ

の雑音増加が報告されています。「くるかも」はこのラジオの雑音の原因となる電磁波ノイズを基に地震を予知します。ラジオの雑音が増えて騒々しくなるのが、地震の前兆を示すサインです。大地震が発生する前には、ラジオの雑音（地下からの電磁波ノイズ）が大量に発生することが、まず最初のサインです。地震が起こる可能性が無い場合には、この大量の雑音すら発生しません。次に、大量の雑音は、徐々に少なくなつていきます。そして、ある時を境に、雑音はほとんど消えてしまいます。その数日後に、地震が起こります。物を強く押すと形が変わつたり、割れたりします。岩石も同じです。地下深くで、岩石を押しつぶす力が発生し、もともとあった割れ目が大規模にすべったり、割れたりして雑音（電磁波ノイズ）が発生すると言われています。細かく見ると、岩石には小さな割れ目が多数発生します。この割れ目が電気を帯び、岩石内を電流が走るといふ現象が起こります。この同時に、ラジオの雑音の元となる電磁波ノイズが発生します。

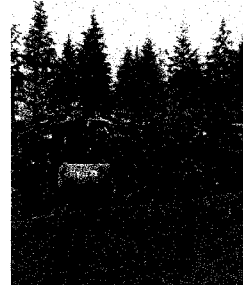
（参考文献）webで地震予知を検索、電磁波とラジオのノイズを参照 発生確率46%は、無視できない。雷もラジオにノイズを残しますので、観測時に注意して、出来るだけノイズの少ないFM波を選んで聞く。規定周波数に合っていないとノイズを拾う。要注意

寒中の散歩 悲喜交交

（独り言）威勢を誇張していた、ヒマラヤ杉



春にはつぺんでホオジロが奏でる早春賦に足を止められる。そうありがたいものだ。



伐採された後の切り株と処理を待つ残骸。こんなうれしい出会いもある。緩衝緑地公園で出会った双子の赤ちゃん



（写真右上）と（写真右下）貞園橋下の旧砂押川右岸に咲いていた日本タンポポとホトケノザ
（同じ日の撮影 平成26年2月3日撮影）

自然と人間のかかわり

大代南区 星 繁子

月日の流れは早いもので、もう2月も半ば、去る2月8、9日のドカ雪には驚かされました。駐車場の積雪は、35 cm以上もあり、雪の置き場に困りました。3・11の震災以来、気象が変わったのか、台風、洪水、竜巻、豪雨、そしてこの度の豪雪と想定以外の災害が続出し、その都度自然社会に甚大な被害があり、死傷者もでております。

3・11の震災で多くの方々から物心両面のご支援をいただいたことを思うとき、何もできない今の自分が情けなく憂鬱になってしまいます。そんな時、ふと昨年11月29日のアインソン彗星の事件を思い出しました。あの時は、その彗星を見ようとマスメディアは勿論、日本中の人々が湧き立ち、老体ながら私もテレビの前で、その瞬間を待っていました。

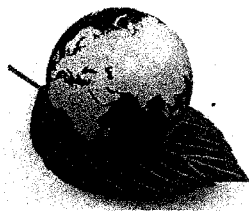
宇宙ステーションの野口さんも、その歴史的瞬間を宇宙から捉え、私達地球人に届けようと準備をし、頑張っていました。通過の時間になると残念そうな表情で彗星は、太陽に突入し、氷の塊りである物体は、太陽の高熱で大爆発を起こして溶けてしまい、一部は宇宙の彼方に消えて行ったとの報告がありました。

どうしようもない自然の大きな力を目の当

たりにし、私達が住んでいる地球も遊星の一つで、何時何が起るかも知れない不安定な物体であり、それに対する心構えの大事さを切々と話しておりました。

宇宙からの中継が終わった3・11の震災以降、次々に起こる災害、これもその一部の現象なのでしょう？

異常なほど発達を続ける文明社会に慣れた私達の生活が知らず知らずに自然を破壊し、その原因を作っているのではないかと反省し、現代を生きる私達は、自然を大切にし、人間同士の争いをなくし、平和な生活環境を子や孫に伝えたいと切望するひとときでした。



やかもち鍋料理教室を実施して

大代食生活改善推進委員会

大代北区 鈴木 絹子

このたび、公民館から料理教室の依頼を受けましたので、やかもち鍋と海苔巻き蓮根つくねを作ってもらいました。

やかもち鍋については、初めて作るという方がたくさんおられましたので、これを機会

に、更に、やかもち鍋が広まってくればありがたいと思っております。

ここで簡単にやかもち鍋の由来についてご紹介させていただきます。

やかもち鍋は、多賀城に赴任した都人であり、歌人でもある大伴家持を偲び考案した創作鍋で、考案者は、生涯学習一〇〇年構想実践委員会あすなる部長の鈴木きくえさんです。鍋には、当時の人々が食していた古代米を用いた餅のほか、短冊をイメージして切りそろえた大根・人参など7種類の野菜を京風の白だし醤油で味を整え、おもてなしの一品として仕上げたものです。

料理教室に参加した方々は、一様に大変おいしく、工夫された料理であるとの好評をいただきました。皆様のご家庭でも是非作ってみては如何でしょうか。



調理実習を前にやかもち鍋の由来、作り方のポイントなどについて説明



おもてなしの品、やかもち鍋と海苔巻き蓮根つくね

少しの散歩道①

大代地区コミュニティ推進協議会

広報部 佐藤 捷逸

正月も明けきらぬ、9日、散歩に出ようと柏木遺跡の高台に立つと身震いするほどの寒さでした。しかし、正月のご馳走を何とか消化しなければいけないと思い立ち歩き出したが、ふと遺跡にいることに思いを巡らせ眼下見回すと、昔の自然が偲ばれ楽しく歩き出した。大昔、砂押川は今の七北田川であり湊浜に流れていたことが何かに記されていたことが記憶に残る。今、高台から湊浜を見ると、白い、湊浜の年老いた方に想像すると面白かったと話された。しかし、時代を想像すると弁天湖は河跡湖とある。弁天さんのすぐ下にある沼のことである。さらに飛躍して考えると、この柏木遺跡のすぐ下を七北田川が流れていたと想像することもできる。だとすると鉄を製造するための原料の取得は安易なものとなる。しかも多賀城西門から4キロの位置にあり製造した物を運搬路として七北田川を利用したとも考えられる。

参考までに多賀城史の埋蔵文化財調査センターの石川氏の資料を紹介すると木炭窯6基、製鉄炉4基、竪穴住居跡4基が発掘されていると記されている。

木炭釜については登り窯と記されているので想像できないが、傾斜に沿ったものであると思います。現代でも木炭は製造され使用されているので参考までに写真で紹介いたします。



(次号へ続く)

写真は、実際のものとは関係ありません。(写真上：奥松島縄文の里、写真下：愛子小学校の木炭窯)

お知らせ

○3・11東日本大震災の追悼式について

3月11日(火)多賀城市主催の追悼式が行われます。これに伴い、大代地区公民館に記帳所が設置されますので、お知らせいたします。

卒業式の日程

東豊中学校
3月8日(土)

多賀城東小学校
3月18日(火)

卒業される
児童、生徒、
ご家族の皆
さん!!
おめでとうございます。



○新1年生の歓迎会について

大代地区の各子供会や有志の方が主催者となって、今年4月に多賀城東小学校に入學する児童(新1年生)の歓迎会を左記により開催します。

新1年生が一人でも多くの在校生と顔見知りになり、学校生活がより楽しく過ごせるようにしたいと思っています。
ご家族お揃いで、気軽にご参加くださいますようお願いいたします。

記

日時 平成26年3月29日(土)

午前10時～11時30分

場所 大代地区公民館

携行品 上履き

申し込み方法

参加ご希望の方は、各区に回覧文書お願ひしてありますので、申込用紙にご記入ください。

お問い合わせ

大代北区

茂木(090-9755-8062)に、

お願いいたします。

